

第8回 ちょうふ福祉実践フォーラム

元気が出る福祉!!

大川 総裁の

『笑福連携』

って何!?

2月16日(日)

午後1時～5時(開場12時40分)

調布市こころの健康支援センター2階

調布市布田5-46-1

対象:市内福祉職

※障害福祉サービスの家賃補助対象事業



大川 豊

(おおかわ・ゆたか)

【申込期間】

～2月12日(水)まで

定員:先着50人

【申込専用フォーム】



(<https://forms.gle/QPPKVHMUVttM2KyF9>)

無料

【プロフィール】

大川興業総裁。

1962年東京都生まれ。

明治大学在学中にお笑い集団「大川興業」を結成。就職試験で153社不合格となり、1985年大川興業株式会社を設立。芸人と同時にプロデューサーとして1990年から若手芸人育成のためのライブ「すつとこっこい」を毎月開催し、多くの芸人を輩出。政治経済のネタを得意とし、国内外で取材を行う。近年は福祉、医療の現場にも赴き、その活動は多岐にわたる。総理記者会見にも参加している。幅広い人脈を活かし、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震などの復興支援活動も行う。著作に『大川総裁の福祉論!』(旬報社)『金なら返せん!』(日本インディーズ候補列伝)(扶桑社)他。

【基調講演トークテーマ(予定)】

- ①大川総裁が福祉に関心を持ったきっかけ
- ②「笑福連携」って何?
- ③長年に渡る活動の原動力は?
- ④福祉のどこに面白さを感じているの?
- ⑤障害をネタにすることや差別・偏見についての考え など…

【第8回ちょうふ福祉実践フォーラムのねらい】

現在、福祉業界では人材確保や人材育成、多様化する利用者の支援など、日々の業務において様々な悩みや課題を抱えているという声を多く耳にします。

また、リスク対応や周囲の反応など配慮すべきことが多く、知らず知らずのうちに決まった枠の中で働く習慣が身についてしまい、新たな挑戦や探求心、やりがいを持って仕事を楽しむことが難しいと感じている方も少なくないかもしれません。

ちょうふ福祉実践フォーラムでは、多くの福祉実践現場の取材を続けてきた大川総裁をゲストに招き、これまでの体験談や『笑福連携』の価値観について学び、分野や事業所の垣根を越えた福祉職どうしの対話の中から、明日の私たちが楽しく働くためのヒントやコツを見つけます。

■ プログラム

第1部【基調講演】

講師:大川 豊氏(大川興業総裁)

【指定質問者】

小幡 真也氏(フロリール調布)

大久保 衣央氏(子ども家庭支援センター
すこやか)

舛田 一樹氏(下石原ぴいす)

石川 大貴氏(調布市障害福祉課)

【会場参加者からの質問】

第2部【分科会】

第1分科会「福祉職経験5年未満」

第2分科会「福祉職経験5年以上15年未満」

第3分科会「福祉職経験15年以上」

第3部【まとめ】

分科会の話題のシェア(各グループの代表者)

全体のまとめ(結城 俊哉氏 /立教大学)

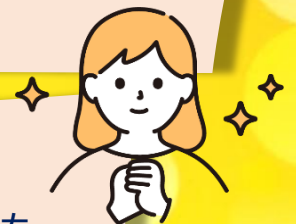
■ 指定質問者の意気込み



【小幡 真也氏/フロリール調布】

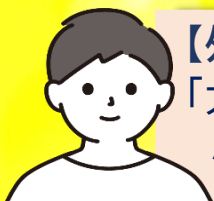
介護老人保健施設に勤めて26年目の半人前です。

介護保険開始前から現場で働き、今は事務方として高齢者支援について考えています。新しい事に挑戦したいけれどリスクと不安が払しょくできません！教えて！大川総裁！



【大久保 衣央氏/子ども家庭支援センターすこやか】

書籍を読んで「問題提起だけではなく、お笑いの発想で楽しく解決する」大川総裁の言葉に、新たな光が差した気分になりました。考え方ひとつで、福祉の見え方も支援の方法も変わってくる。そんな新しい視点に出会えることを楽しみにしています！現代の子育て環境についてのお話も聞いてみたいです！



【舛田 一樹氏/下石原ぴいす】

「大川総裁の福祉論！」を拝読し、その言葉に触れるにつれ、少しずつ心が軽くなり、前に進む力をもらいました。

福祉の仕事をしていると、つい自分の視野が狭くなり、目の前の問題に追われがちです。そんな時にどんな気持ちで取り組めば元気が出るのかをお聞きできればと思います。



【石川 大貴氏/調布市障害福祉課】

テーマである「元気が出る福祉」が示すとおり、元気に楽しく福祉に関わるコツを学びたいです！！偶然にも同日にダンスの発表会があるので、お時間がある方はそちらにもお越しください(*^-^*)

問合せ先:調布市福祉人材育成センター

住 所:調布市布田5-46-1

電 話:042-452-8180 (月~金曜日の午前9時~午後5時まで)

